

保護者等への連絡・配布資料のデジタル化

～みんな喜ぶデジタル化の道を考える～

令和5年（2023年）3月22日（水）
令和4年度 学校における働き方改革フォーラム

認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム 理事長
（一社）北海道開発技術センター（dec） 地域政策研究所 参事

文部科学省ICT活用教育アドバイザー

元 札幌市立小学校校長

新 保 元 康

あの日

2011年8月撮影 釜石



2012年11月撮影 気仙沼



2011年3月11日東日本大震災



2011/03/11 15:14:46



キュート連絡網

TO

新保元康



【緊急】先ほどの地震

TEXT

0.3Kbyte

※返信は不要です。

先ほど地震が発生しました。

児童にけがなどはありません。

余震がおさまるまで、当分の間下校を
見合わせます。

下校時は方面別にまとまって下校しま

札幌市立山の手南小学校

2011年3月11日のメール

緊急時のメール一斉配信の強みを実感

緊急時だけではありません

学校・保護者等間の連絡デジタル化

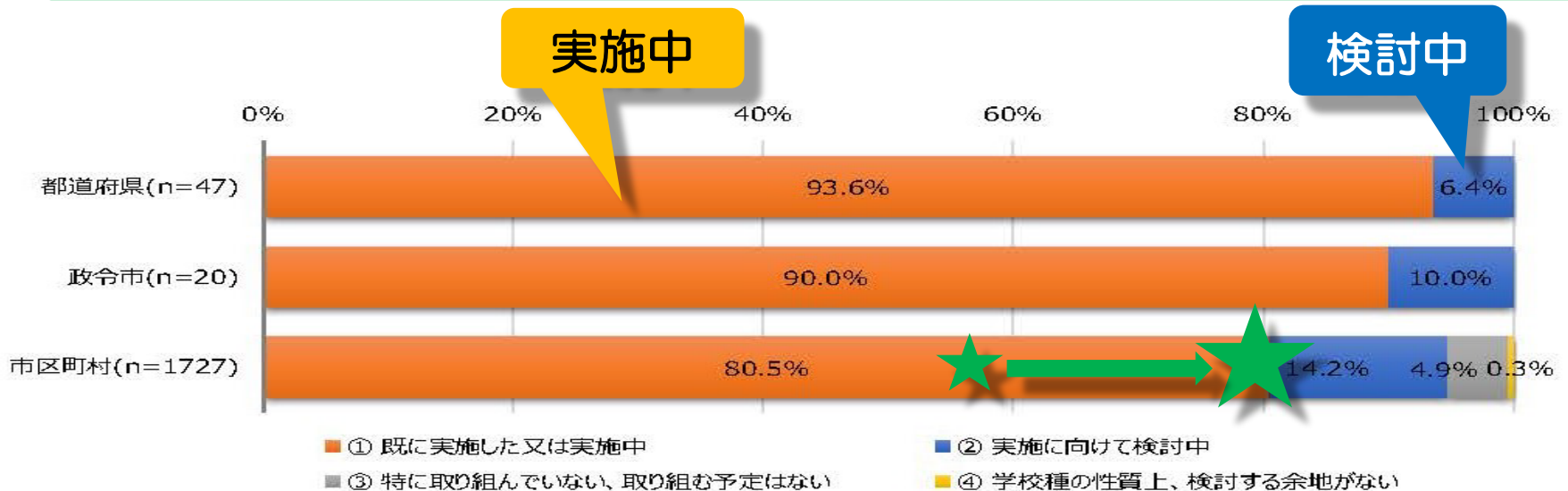
- 1) アンケートなどの配布・回収・集計
- 2) 遅刻・欠席連絡
- 3) 日常的なお便りの配布
- 4) 緊急時の一斉連絡

働き方改革・保護者の信頼醸成に効果あり
どこまで進んでいますか？

学校・保護者等間の連絡手段の現状①

令和4年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果より
(調査基準日 令和4年9月1日) https://www.mext.go.jp/content/20221223-mxt_zaimu-000026593_4.pdf をもとに作成

②① ■学校と保護者等間における連絡手段について、Webアンケートフォーム等を活用してデジタル化を図っている（保護者向けアンケート、欠席・遅刻連絡、学校からのお便り等）



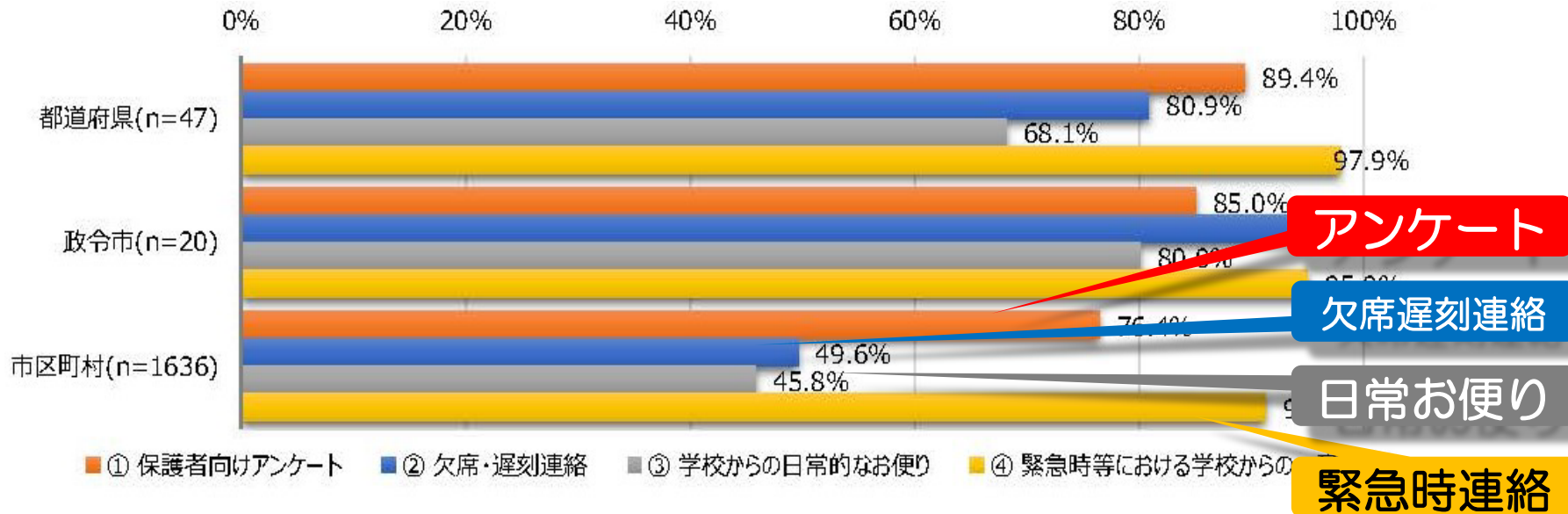
保護者等への連絡は、大幅にデジタル化進行中！

★特に市区町村では、昨年度から大きく伸び、8割以上で実施（R3:56.3%）。

学校・保護者等間の連絡手段の現状②

令和4年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果より
(調査基準日 令和4年9月1日) https://www.mext.go.jp/content/20221223-mxt_zaimu-000026593_4.pdf をもとに作成

【(21)付問】 デジタル化を図っていること (複数回答)



＜＜内容をよく見ると…差があります＞＞

- ・ 緊急連絡、アンケートのデジタル化＝進行
- ・ 欠席遅刻連絡、日常の便りのデジタル化＝遅れ気味

欠席遅刻連絡

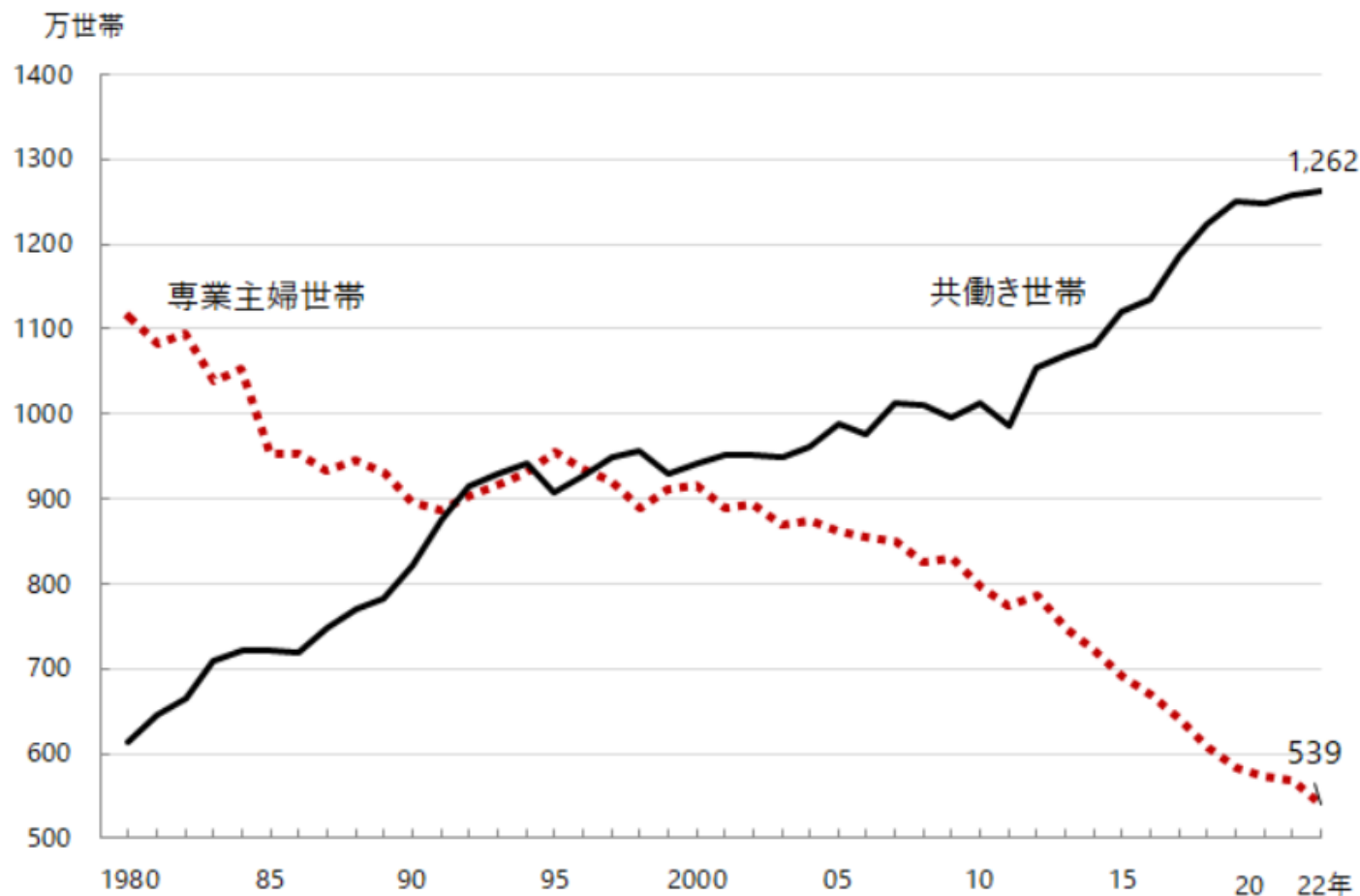
日常お便り

保護者連絡デジタル化推進のコツ

保護者に分かってもらうには…
どうすればいいのでしょうか？

<その1>一番大事な基本認識

図12 専業主婦世帯と共働き世帯 1980年～2022年



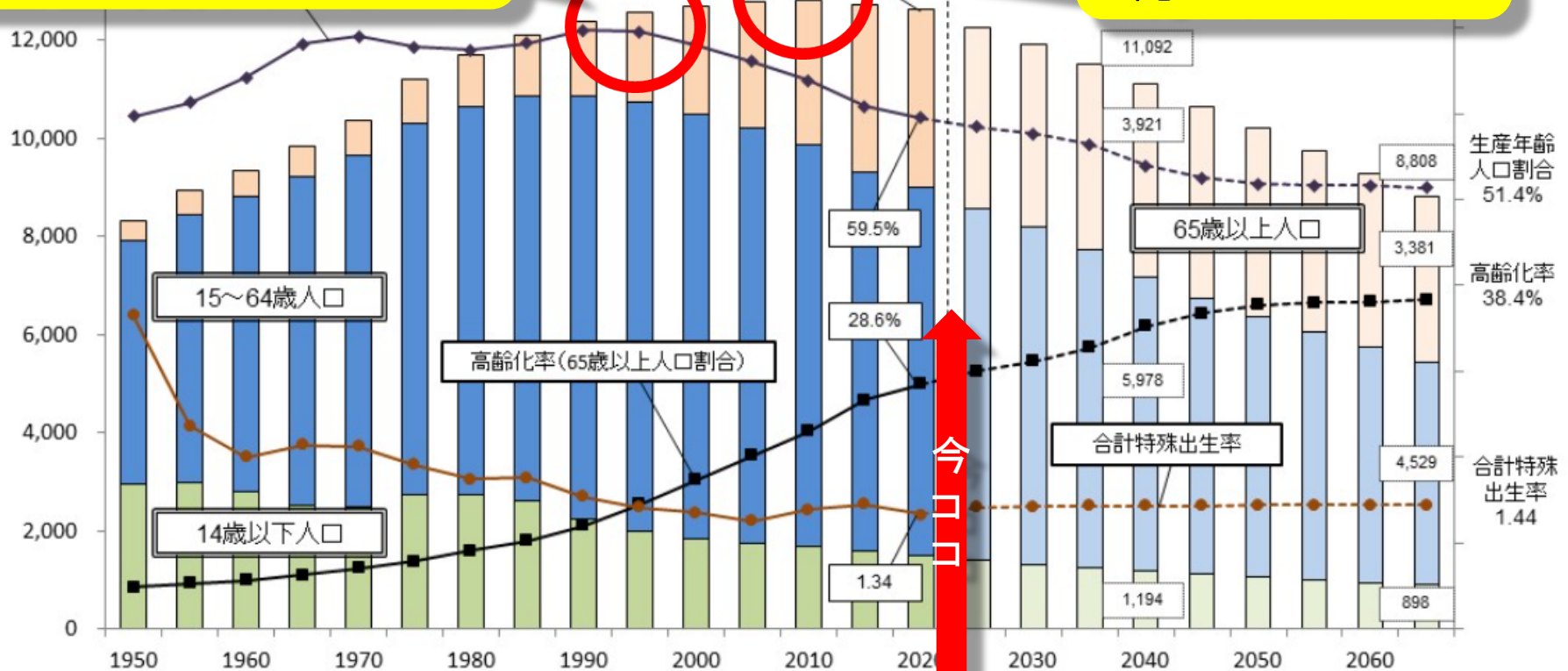
「共働き」が当たり前の時代
ヒマな人は一人もいません 保護者も地域も…

日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2065年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は38%台の水準になると推計されている。

1995年ころ
生産年齢人口ピーク

2008年ころ
総人口ピーク



- ・ 総人口、減り始めて15年目既に約300万人減少
- ・ 生産年齢人口は既に約1,200万人以上減少

<<日本中が人手不足>>=<<みんな忙しい!>>

<その2>保護者のメリットを強調！

<<働き方改革の話題>>
つつい「学校の大変さを強調しがち」



- ①保護者の大変さへの共感から始める
- ②いつでもどこでも情報共有の良さを説明・強調
- ③実験的なスタート
 - △説明→納得→実施
 - 説明→実験（一部実施）→小さな成功
→積み上げと情報共有→実施→納得の拡大

<その3>そもそも必要な情報か吟味

<<陥りがちな罠>>

デジタルの良さを生かそうと

がんばりすぎる学校

ex.<情報増><アンケート増><強制的空気>



①丁寧さより結論と分かりやすさ

②そもそも必要な情報への絞り込み（情報精選）

③任意×納得からの小さなスタート

→小さな成功の共有→共感・納得の広がり

④効率化による質の高まり事例を共有

ex.クラウドで欠席連絡が一般化すると、朝の職員室に余裕が生まれ、
教師の安心&授業の質の向上&個別対応充実

「えりも小」の好事例に学ぶ

Googleマップより <https://www.google.com/maps/@46.7445658,136.506685,3647689m/data=!3m1!1e3>



「えりも小」の好事例に学ぶ



開校明治10年（1887年）
児童数146名

「えりも小」の好事例に学ぶ



学校DXに熱心に取り組み
授業改善×働き方改革推進

「えりも小」の好事例に学ぶ

日常お便り

トライアル中

実施済み

アンケート

欠席遅刻連絡
(電話OK)

緊急時連絡

「えりも小」の好事例に学ぶ



よい、伝わりやすく～学校発文書の書式・配布方法の変更について～

校長 佐藤 裕哉

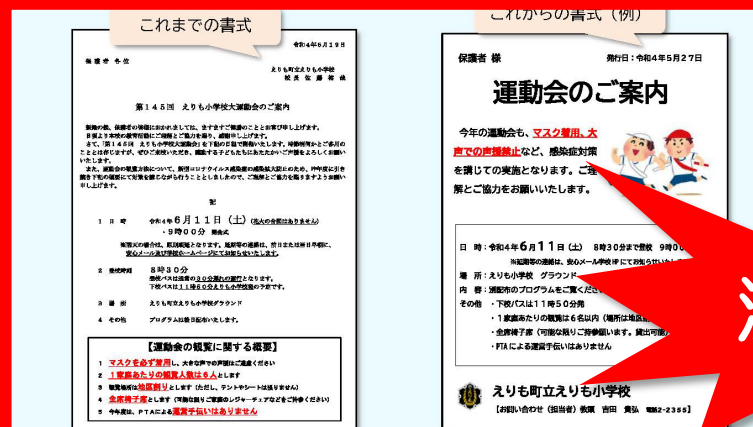
とある教育関係雑誌に、「学校発文書のコゴが気になる！」と題したコラムがありました。現役の保護者や PTA 関係者、学校関係者による対談形式なのですが、学校から発出される文書について、もう少し簡潔に分かりやすくした方が良いという内容でした。

本校でも多くの学校同様に、従前より「新緑の候～」などの時候の挨拶から始まる形式的な文章を記しておりましたが、実際にこの文を必要としている保護者の方はほとんどいらっしゃらないのではないかと感じております。そこで、保護者の皆様により分かりやすく簡潔に伝える工夫の一つとして、各種行事のご案内文書のフォーマットを改善することとしました。**必要な情報のみ、簡潔にお伝えしていこう**と思います。

また、次年度からは、**原則「安心メールへの添付による配信（同時にホームページへの掲載）」に切り替え**いたします。これにより、保護者の皆様それぞれのスマートフォンにていつでもどこでも**学校からの文書を確認**することができますし、児童による文書の**紛失、提出忘れも無くなり**、ご家庭内のプリント（**いずれはゴミとなる物**）を**減らす**ことにもなります。また、学校側としても**用紙の節約**となるとともに、**配布漏れ・忘れを防ぐ**こともでき、休みの児童がいても他のご家庭と同じ**タイミング**で配布できるというメリットがあります。

なお、**3 学期は紙媒体の配布と併用することとし、次年度始業式より完全移行**いたしますので、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

注目！



安心メールへのデータ添付による配布は、原則全家庭へ配布する学校からのご案内文書や、

「4ステップで進めていきます」

- ①PTA役員説明
- ②1月学校だより説明
- ③2月3月試行
- ④4月完全実施



佐藤裕哉校長

これまでの書式

令和4年5月19日

保護者 各位

えりも町立えりも小学校
校長 佐藤 裕哉

第145回 えりも小学校大運動会のご案内

新年度の初、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。
さて、「第145回 えりも小学校大運動会」を下記の日曜で開催いたします。時期稍何れかとご多用のこととは存じますが、ぜひご来校いただき、運動する子どもたちにあたたかいご声援をよろしくお願いいたします。
また、運動会の観覧方法について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き下記の内容にて対策を講じながら行うこととしましたので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 日 時 令和4年6月11日(土) (花火の合同はありません)
・9時00分 開会式

東雨天の場合は、原則順延となります。延期等の連絡は、前日または当日早朝
安心メール及び学校ホームページにてお知らせいたします。

2 登校時刻 8時30分
登校バスは通常の30分前での運行となります。
下校バスは11時50分えりも小学校前の予定です。

3 場 所 えりも町立えりも小学校グラウンド

4 その他 プログラムは後日配布いたします。

【運動会の観覧に関する概要】

- 1 マスクを必ず着用し、大きな声での声援はご遠慮ください
- 2 1家庭あたりの観覧人数は6人とします
- 3 観覧場所は地区割りとします(ただし、テントやシートは張りません)
- 4 全席椅子席とします(可能な限りご家庭のレジャーチェアなどをご持参ください)
- 5 今年度は、PTAによる運営手伝いはありません

これからの書式(例)

保護者 様

発行日: 令和4年5月27日

運動会のご案内

今年の運動会も、**マスク着用、大声での声援禁止**など、感染症対策を講じての実施となります。ご理解とご協力をお願いいたします。



日 時: 令和4年6月11日(土) 8時30分まで登校 9時00分開会式

※延期等の連絡は、安心メール学校HPにてお知らせいたします。

場 所: えりも小学校 グラウンド

内 容: 別配布のプログラムをご覧ください

その他 ・下校バスは11時50分発

- ・1家庭あたりの観覧は6名以内(場所は地区割り)
- ・全席椅子席(可能な限りご持参願います。貸出可能)
- ・PTAによる運営手伝いはありません



えりも町立えりも小学校

【お問い合わせ(担当者)】教頭 吉田 貴弘 電話2-2355

①そもそもの文書を簡素化

②試験的段階的にメールへ(4月から100%)

R4年度改訂事例集にはメリット明記

緊急時の一斉連絡
(学校→保護者)



- 😊 電話連絡等の時間の大幅な削減
- 😊 円滑な緊急連絡の実施
- 😊 保護者が外出先などでも確認可能

遅刻・欠席連絡
(保護者→学校)



- 😊 教師の電話対応時間の大幅な削減
- 😊 担任が直接確認でき、教師間の連絡が不要
- 😊 リアルタイムで一覧の状況を把握できる
- 😊 電話がつかないなどのロスがない

日常的なお便りの配布
(学校→保護者)



- 😊 印刷業務の大幅な削減、紙・インクの節減
- 😊 配布の手間の削減
- 😊 児童生徒の出し忘れや、紛失の心配がない
- 😊 家庭での保管が容易になる

アンケート等の配布・
回収・集計
(学校→保護者→学校)



- 😊 フォーマットの利用による作成の負担軽減
- 😊 印刷・配布業務の削減
- 😊 集計の大幅な効率化
- 😊 スマートフォンなどでいつでも回答可能

働き方改革に直結
保護者説明に、ぜひ参考にしたいですね！

（おまけ）保護者連絡DXのこれから

- 1) 保護者連絡のそもそもの重点化・簡素化
必要な情報へのさらなる絞り込み
- 2) 保護者アカウントは、学校で管理しない方向
 - ・クラウドサービスを利用した連絡システム
 - ・チャット活用の検討
- 3) 電話対応の質の向上&効率化
 - ・仕分け・記録・テキスト化等
- 4) 大部分はより効率的に対応し、生まれた時間を働き方改革と個別の丁寧な対応に振り向ける

クラウドサービスの進化はさらに進む
変革の時代だからこそ学び続ける必要性

ありがとうございました